



二小だより



土浦市立土浦第二小学校 2013.3.12

<http://www.tsuchiura.ed.jp/~nisho/>

校長室の窓から



体育館の壁面には

3月の声を聞き、急に風が優しく感じられるようになりました。

6年生からのありがとうの会

6年生を送る会

登校班の引継 と、学校内も新たなスタートに向かって、準備が進められています。そのような中、子どもたちの活躍する姿は、立派で頼もしく感じられます。

下は、6年生を送る会を終えた後の5年生の感想です。

5年生のみんなが6年生のために開いた会なのに、また6年生に圧倒された気がします。発表も、歌も全部すばらしかったです。将来、あんな6年生になれるかなと思いました。やさしい中学生になってほしいです。ずっと、6年生は私の目標です！！

書いた5年生の子どもの感性もすばらしいし、そうさせた6年生もすばらしいと思います。このような心のキャッチボールができるから、二小のよき伝統が伝えられていくのです。よいお手本を見ること、見て感じ取る心が育っていること、そして次は自分たちがやるんだという強い気持ちをもつこと、この流れができあがっています。

『よいお手本を見ること』はすべてにおいてよき体験になっています。

例えば、学習では、友だちのノートや自主学習ノートを見ること、

話の聴き方や発表の仕方を見ること

友だちの意見文や感想文を読むこと

生活では、元気にあいさつする上級生の姿

清掃時黙々と掃除する姿

話をよく聞いてくれる友だちの姿

などなど。

それを見て、「いい子ぶってる」とか「かっこつけてる」など冷やかす子どもは一人もいません。それを目標として、「ぼくもがんばってみよう」とする素直さがすばらしいのです。どこにでも、『よきお手本』があります。でも、それを感じ取る力、それを受け入れる素直さがないと伸びません。また、そういった雰囲気、環境を作ることが大切です。子どもたちが、素直さや豊かな感性を率直に表現できる場でありたいと考えています。今、二小はそのような場であると思っています。そのような環境を維持し、グレードを上げるのは、先生方です。素直さや努力している姿を認め、励ますこと、そして広めることが役割だと痛感しています。子どもたちの満足感・達成感が、さらに二小をよくしてくれるはずで、先生方も『よきお手本』になれるよう、今後も研鑽を積んでいきたいと考えています。

自家用車の乗り入れについて(お願い)

原則、徒歩か自転車での来校をお願いしています。特に雨の日は、お迎えの車と下校の子どもたちが交錯してしまい、大変危険な状況です。

駐車場が狭いこと等諸条件が整わないため、来校は、原則、

徒歩か自転車としております。

来年度は、工事車両も入ることから、特にご協力をお願いいたします。



来年度も意識的に継続していくこと

人の話をよく聴くこと



正しい聴き方

『人の話をよく聴くこと』はすべての基本です。話している方を見て、うなずきながら聴く、という姿勢は、生活の場だけでなく、授業でも大切なことと、人から学ぶことも多いためです。話をききながら聴くことができると、相手の学力は伸びます。聴き方がよいと、話し手も話せるようになります。お互いの意見交流も活発になり、深まりが見られ、たくさんの知識を習得できることと、

将来につながる学び方を身に付けること

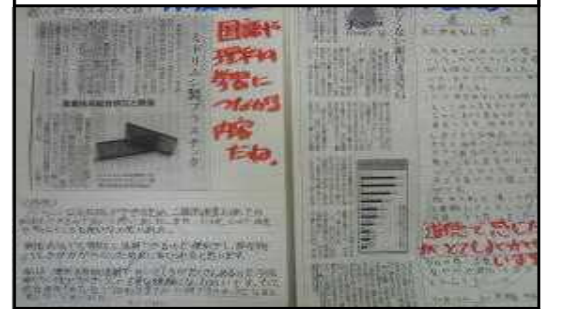
「学び方ガイド」も積極的に活用していきます。その中

の「一人学びをめざして」

を意識してすすめていき

たいと考えています。小学校だけでなく、中学校に行っても役立つ学び方、社会人になってからも課題意識を持って学ぶ姿勢につながるように、家庭学習・自主学習の習慣づけを図っていきます。右の自主学習ノートは、新聞記事を見て、習ったことを使って自分の考えをまとめています。これは、とてもよい習慣ではないでしょうか。新たな内容を学習するとき、今まで習ったことを使って考える、そして、学習したことを生活の中に生かす、この繰り返しが大切だと考えます。そのために1・2年生では与えられた課題をする、3・4年生から徐々に自分で考えた家庭学習に取り組み、5・6年生では右のような自主学習ができるようになる、といった段階を踏まえて成長させていきたいと思ひます。

6年生の自主学習ノート



「正しい言葉をつかおう」「つなぐ言葉をつかおう」

そして「言葉を広げよう」

相手を意識した言葉遣いをさせたいと考えています。

「おはよう」と「おはようございます」は、言う相手が違いますね。

「これ貸して」と「～なので、これを貸してください」も同様です。

丁寧語や尊敬語、謙譲語が発達段階に応じて、遣えるようになっていければいいと思ひます。

これも将来、大切な力です。

そして、返事とあいさつはしっかりできるようにしていきます。特に、自分が何か悪いことをしたとき、『ごめんなさい』が言える子どもたちでありたいと思ひます。そのとき、『だって』『でも』ではなく、まず自分の非を素直に認め、その気持ちを相手に伝えることが大切です。よき人間関係を構築させるためにも、言語環境を整えていきたいと思ひます。

健康に対して自己管理すること

2月号にも書きましたが、二小は健康管理がよくインフルエンザやノロウイルスなど、大流行せず生活することができます。これは、ご家庭の健康管理が行き届いているためだと考えられますが、自己管理ができるような子どもたちにしていきたいと思ひます。そのためには、

自分で体力をつけること(できるだけ体を動かす習慣をつける)

自分で予防策をとること(マスク着用やうがい、早めの休養など)

が、大切です。この習慣がつくと将来仕事に就いたときにも役立つはずで、

1年間ありがとうございました

この1年間、保護者のみなさま・地域のみなさまには二小を温かく見守っていただきありがとうございました。

子どもたちは、学校内の活動だけでなく校外での活動でも二小のよさを発揮してくれました。ほんとうに子どもたちの力は、計り知れないものがあります。その力を十分伸ばすことができたかどうか・・・。

でも教育はその年で終わるものではありません。

来年度も、学校に対しましてご理解・ご協力をお願いいたします。